

キアコウの漁獲加入予測

福島県水産試験場 水産資源部

部門名 水産 - 資源管理 - その他魚種(海)
担当者 岩崎高資

新技術の解説

1 要旨

年齢形質が無く、年級分離が出来ない東北沿岸のキアコウの初期成長について、トロール調査の採集個体の体長組成を用いて明らかにし、その成長様式を用いて、小型魚の推定分布量と次漁期の小型魚漁獲尾数の関係を調べた。

- (1) 過去4カ年のトロール調査で採集された個体の月別平均体長を図1に示す。毎年7月頃から体長5～10cmの個体が採集され始め、翌年の6月にかけて体長20～30cm程度に成長していることが分かった。
- (2) トロール調査で6～12月に採集された体長20cm未満の個体数から分布量を求め(図2)、その量と翌年1～6月の漁獲尾数(市場での水揚げ物:体長20～30cmの個体数)を比較したところ両値の間に相関が見られた(図3)。このことから、翌年1～6月期の小型魚漁獲加入尾数を推定することが可能と思われる。

2 期待される効果

- (1) 新規加入水準の把握
- (2) 次漁期小型魚漁獲加入尾数の予測
- (3) 新規加入水準の漁業者への広報

3 適用範囲

調査員

4 普及上の留意点

- (1) トロール調査結果から求めた推定分布量と次漁期の小型魚漁獲量の間に関係が見られたが、用いたデータが5カ年分と少ない。2008年調査で大量に採集された小型群の漁獲への寄与を追跡し、予測を検証する必要がある。

具体的データ等

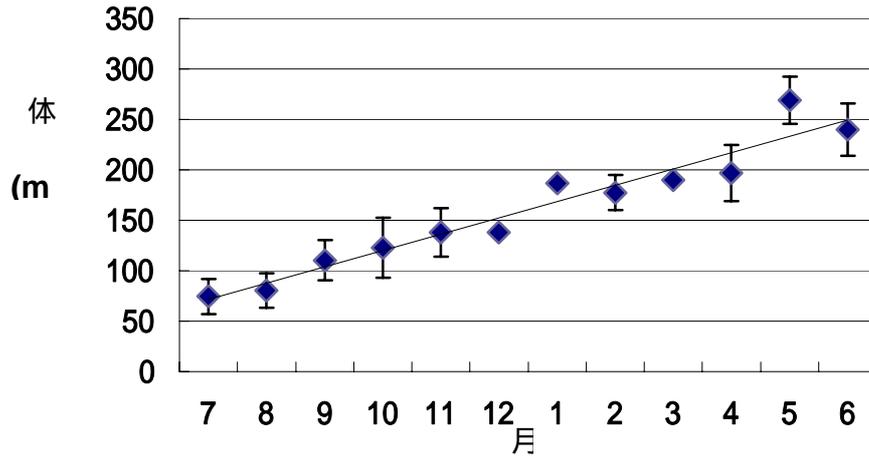


図1 トロール調査採集サンプルの平均体長推移

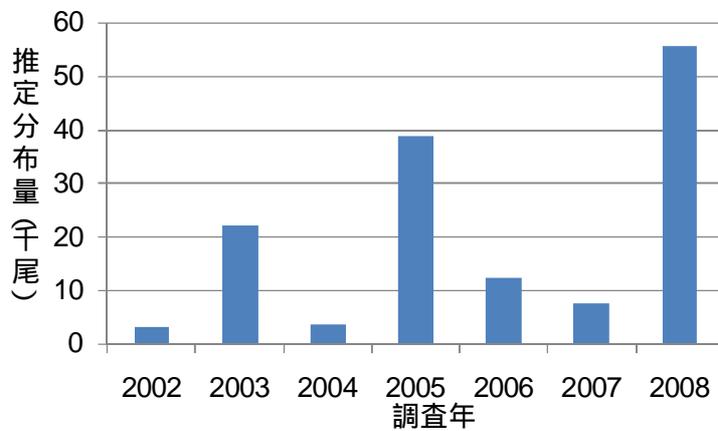


図2 小型魚（体長20cm未満）の推定分布量

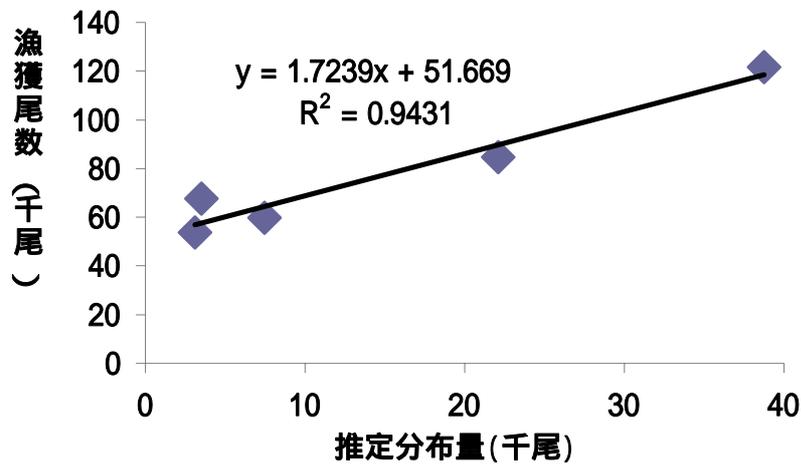


図3 推定分布量と次漁期漁獲尾数（体長20～30cm）の関係

その他

1 執筆者

岩崎高資

2 主な参考文献・資料

(1) 東北底魚研究第20号(2000年)